

Press Release

【2026年4月8日】
送付枚数 本票含め 3枚



報道機関 各位

福岡県と国立大学法人山口大学がワンヘルスの推進に関する協定を締結

春暖の候、貴社におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

山口大学共同獣医学部では、ワンヘルス研究を推進するため医学と獣医学が連携し人獣共通感染症および食品・環境由来感染症の研究を行ってきました。これらをさらに発展させるため、ワンウェルフェアの概念を取り入れた「One Welfare 国際研究センター」を設置し、地域社会と連携しホース・アシステッドセラピー等の動物介在活動等を行ってきたほか、法獣医学に関する研究部門を設置し、新たな手法・視点によるワンウェルフェア研究を全国に先駆けて推進しています。

このような中で、このたび本学は、「福岡県ワンヘルス推進基本条例」に基づき、人の健康、動物の健康、環境の健全性を一体的に守るワンヘルスを推進している福岡県と協定を締結し、ワンヘルスに関する人材育成や調査・研究の推進などについて相互に連携を図り、双方の保有する資源を有効に活用した事業を実施することとなりました。

つきましては、当日の取材・報道等について、ご高配賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

1 日時

令和8年4月13日(月) 14時40分～15時00分

2 場所

福岡県庁 8階 南棟 特別会議室（福岡県福岡市博多区東公園7番7号）

3 署名者

福岡県知事 服部 誠太郎
国立大学法人山口大学長 谷澤 幸生

4 同席者

福岡県保健医療介護部理事(ワンヘルス担当) 白石 博昭
国立大学法人山口大学 One Welfare 国際研究センター長 度会 雅久

5 協定の内容

福岡県及び山口大学は、次の事項について連携して取り組む。

- (1)ワンヘルスに関する分野の人材の育成に関すること
- (2)ワンヘルス・アプローチによる調査・研究の推進に関すること
- (3)ワンヘルスの普及、啓発事業に関すること
- (4)その他の取組に関すること

6 次第

- (1)開会 出席者紹介
- (2)協定書への署名
- (3)服部知事挨拶
- (4)谷澤学長挨拶
- (5)写真撮影
- (6)締結式終了

7 取材について

締結式終了後、福岡県ワンヘルス総合推進課の担当者及び山口大学の担当者が取材に対応します。

【お問合せ先】

山口大学共同獣医学部 藏本
TEL:083-933-5942
E-mail:ve100@yamaguchi-u.ac.jp

発信者	国立大学法人山口大学総務部 総務課広報室 〒753-8511 山口市吉田 1677-1 TEL 083-933-5007 FAX 083-933-5013 E-mail sh011@yamaguchi-u.ac.jp
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



山口大学産学公連携研究拠点

One Welfare 国際研究センター

International Research Center for One Welfare

International Research Center for



One Welfare

Yamaguchi University

目的

One Welfare 国際研究センターは、人と動物のウェルビーイング（幸福感）を一体的に捉えた新たな手法・視点による異分野融合研究を推進する拠点を整備することで、人と動物がよりよく共生できる社会の実現に貢献することを目的としている。

概要

新興感染症のほとんどが人獣共通感染症であり、対策が急務である。人と動物の健康と環境の健全性は、生態系の中で相互に密接につながり、強く影響し合う一つのもの「ワンヘルス」(One Health)であり、これらの健全な状態を一体的に守らなければならない。このワンヘルスという概念は既に定着し、医学・獣医学など多分野の横断的な連携による研究が推進されている。ワンヘルスはさらに進化を遂げ、ワンウェルフェア(One Welfare)という考え方が提唱され始めている。これは健康だけではなく生活の質や心身のウェルビーイングは、人と動物双方にとって大切なことであり、それ自体も連動しているという概念である。これからは、健康は一つであるという考え方から、健康と同時に福祉も一つであるという考え方に進化させる必要がある。人獣共通感染症をはじめとする人、動物、環境に関わる問題を解決するためには、新たな概念を導入した教育研究を推進し、我が国のみならず、アジア・アフリカの発展にも寄与するグローバル人材の育成が必要である。そのために「One Welfare 国際研究センター」を設置し、産学公連携研究拠点としての機能の充実及び教育研究の強化のための組織改革を進めている。山口県から我が国におけるワンウェルフェア研究の推進を加速化させることを目指している。



組織

One Welfare 国際研究センターに「研究推進室」および「部門」を置き、ワンウェルフェア・アプローチによる教育研究活動を展開し、国内外の関係機関及び学内他部局と連携を図るための拠点として活動を行っている。

■研究推進室

One Welfare 国際研究センター内及び以下4部門間へ①研究内容及び研究活動への導入に向けた提案・助言、②新たな概念についての意識啓発・情報提供等の連絡調整を行う。

■部門

- 人獣共通感染症部門： 医学・獣医学連携を基盤とした分野横断的な感染症研究の推進。
- 法獣医学部門： 法獣医学分野の教育研究、新たな学問領域の構築。
- 動物介在活動部門： 地域社会と連携したホース・アシステッドセラピー等の動物介在活動。
- 国際協力部門： 世界展開力強化事業によって築かれた、ケニアを中心としたアフリカ諸国、インドネシアを中心としたASEAN 諸国との連携を活用した教育研究。